平成18年12月13日

豊洲５丁目街づくりニュース NO. 2

《発行》
豊洲５丁目連絡協議会
豊洲５丁目地区開発協議会

●街づくり活動のねらい

われわれの豊洲５丁目では、平成１６年に豊洲ＩＳＴビルが竣工、本年１０月にはシエルタワーがオープンしました。また、倉庫や建物が移転し、土地利用の転換が進むものと思われます。

しかし、今のままでは個別の開発がバラバラに進み、街の魅力が損なわれ、日照・通風など生活環境にも悪影響が懸念されるため、早急に対策をとる必要があります。

そこで、連絡協議会（住民）と開発協議会（企業）が話し合い、より暮らしやすい街づくりを目指した勉強会を始めたわけです。（Ｎｏ.1 参照）

解決すべきは、以下のとおりです。

①事務所・店舗と住宅の調和ある共存

②日照の確保と圧迫感のない街なみ形成

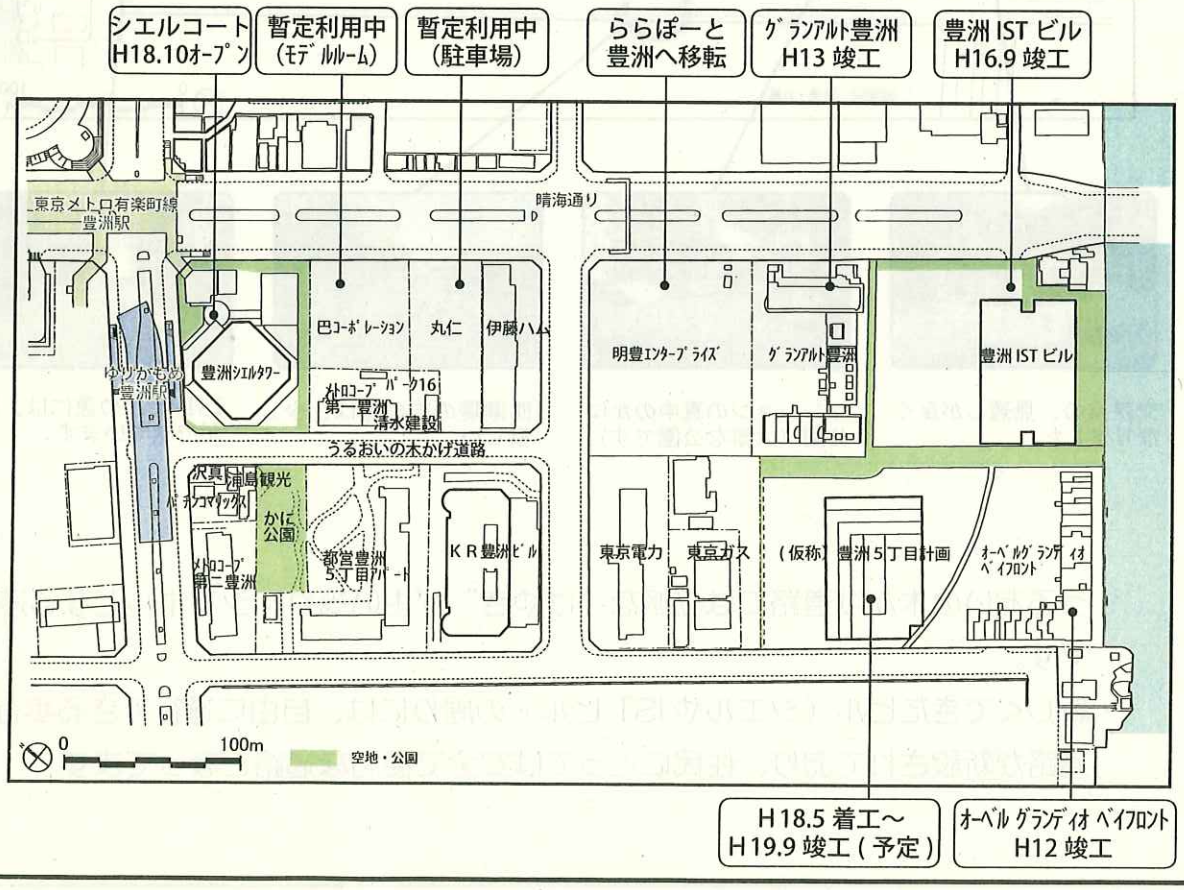
③安全で快適な歩行者空間の確保

④将来の建て替えを視野に入れた資産価値の保全　　等

この課題解決のためには、「地区計画制度」の適用が最も有効な手段と考えられ、地域の方々のご協力が必要です。

さて街づくりニュース２号では、豊洲５丁目の特徴や課題を紹介し、次号以降、街づくりの目標や地区計画制度の概要、検討経過・内容を掲載してまいります。

●豊洲５丁目の現状



● 「豊洲５丁目」の街の特徴を整理しました

シエルのお店の前の空地
歩道が広くなりました。



うるおいの木かげ道路は、
静かな通りです。

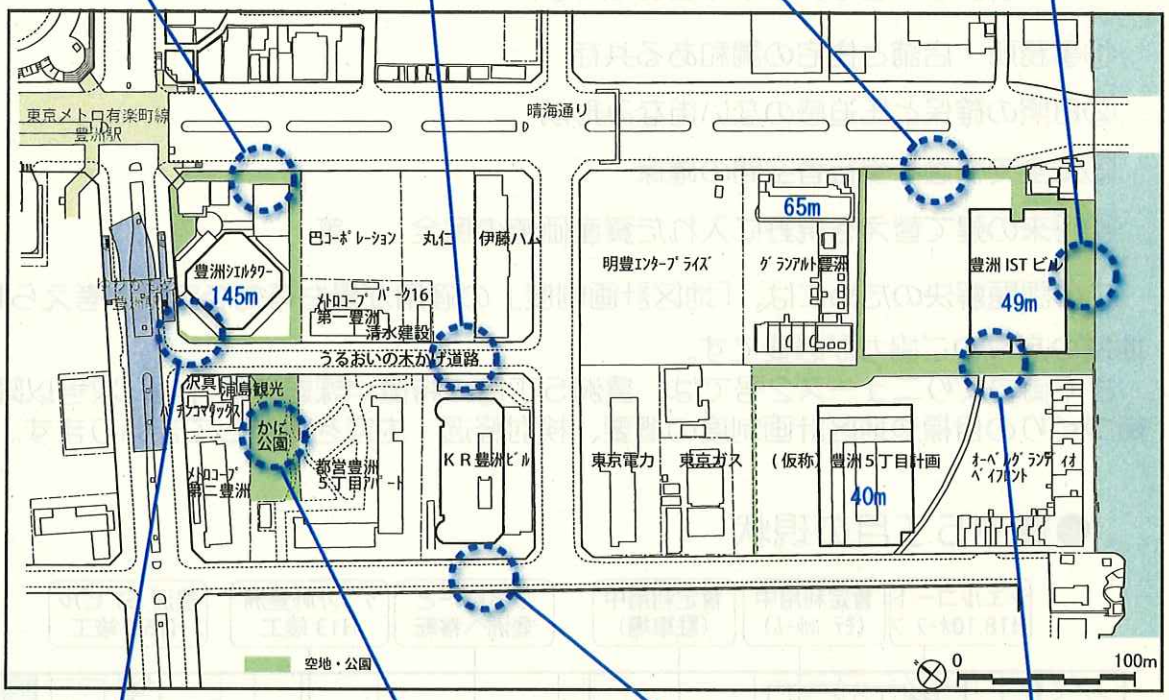


IST ビルの前の空地
植栽がきれいです。



IST ビルの横はデッキ
海が見えます。







交差点の、見通しが良く
なりました。



マンションの真中のかに
公園（大事な公園です）



防潮堤の前の道は、少し
寂しい。



IST ビルの裏には、通路
ができています。

・うるおいの木かげ道路には立派な“けやき”が生い茂り、シンボルとなる道路です。

・新しくできたビル（シエルや IST ビル）の周りには、自由に通行できる歩行通路が新設されており、住民にとっては安全で便利な通路となってます。

● 豊洲周辺の開発情報

ご参考までに、連絡協議会・開発協議会が把握している豊洲周辺の開発情報をご紹介いたします。



○まず、 ＩＨＩ本社ビルです。

・地上２５Ｆ/地下２Ｆ（約126m）

・延床面積　約98,000㎡

※約4200人の従業員が働いてます。



○次に、 芝浦工業大学豊洲キャンパス

・地上１４Ｆ/地下１Ｆ（約68m）

・延床面積　約60,000㎡

※平成18年4月開校、工学部科の3･4年生及び大学院生が学んでます。

○アーバンドックららぽーと

・地上５Ｆ、延床面積 66,000 ㎡
駐車台数 2200 台

・約 190 の店舗（キッザニア、紀伊国屋、東急ハンズ、ドウ･スポーツ　等々）

※年間約 1300 万人の来客を見込んでます。



その他、豊洲２・３丁目では、平成 22 年までに５棟の分譲住宅（約 5000 戸）と２棟の賃貸住宅（約 800 戸）が完成します。

このような大規模な開発が進みつつある豊洲２・３丁目でも、地区計画を定めて、多様な用途建物や歩行者の通路や公園を整備しております。

キリトリ

街づくりについてのご意見がございましたらお聞かせください。

Ⓕ 5560･0515 マチ

マンションにお住まいの方は、記入後、管理組合へご提出お願いします

○豊洲シエルタワー

・地上４０Ｆ/地下１階（約 145m）

・延床面積　約 65000 ㎡

※約 20 の店舗、565 戸の住宅、クリニック
江東区豊洲出張所があります。





○がすてな～に　ガスの科学館

・地上３Ｆ、延床面積 6500 ㎡

※旧館と異なり、予約なしで見学可能
屋上の緑化は一見の価値があります。

※　地区計画とは
地区の特性に応じて、建物用途、容積率、高さ、色彩などについて、きめ細やかなルールを都市計画として定め、その地域にふさわしいよりよい市街地環境をつくることです。地区計画を定めるには、地区の皆さんでまちづくりについて話し合い、区と相談し地区の皆さんの合意に基づいた、まちづくりのルールが必要です。

☆　豊洲5丁目連絡協議会
うるおいの木かげ道路を中心とした住民の有志（管理組合理事長 他）により、街の課題や情報交換を行っている組織です。

メンバー：メトロコープ第一、第二、都営住宅の理事長及び有志、沢真さん、パチンコマリックスさん、浦島観光さん、東電社宅さん

☆　豊洲5丁目地区開発協議会
豊洲５丁目の企業が集まり、豊洲５丁目の調和ある開発計画を目指し活動を続けている組織です。

メンバー：巴コーポレーション、丸仁、清水建設、伊藤ハム、明豊エンタープライズ、東京電力、東京ガス、昭和大学、日本ビルファンド